



天神さまと菜の花(菜種)

天神さまといえは「梅」ですが、実は近世までは天神さまといえは菜種(菜の花)を連想される方も多かったようです。

今から九一〇年前の天仁二年(一一〇九)二月に、全国の天神さまの総本社である京都の北野天満宮において、「菜種御供」という特殊神饌がお供えされるようになり、その神饌名から天神さま

菜種というお話が生まれたようです。なぜ菜種なのかというと、天神さまの薨去された日は旧暦の二月二十五日。現在の暦では三月下旬となり、ちよど菜の花の時期です。それが明治になって、太陽暦の導入で季節がずれ、菜の花ではなく梅が主役となりました。

春の先駆けたる梅も菜の花も天神さまゆかりの花々です。寒さに負けじと頑張って咲く花の姿に天神さまのお心も宥ねられたのでしょう。

菜種守の授与

本年も天神さまと、茶屋町にゆかり深い、菜の花に因んだ、イライラ封じの御守、「菜種守」を期間限定で授与いたします。荒む心を宥め、気持ちを明るくする事を祈念した開運の御守です。二月二十五日から四月初旬頃までの授与です。

厄年の御祈祷

当社では厄年の厄除祈祷を受け付けております。左表にもあります通り、それぞれ厄年がございしますが、特に数え年の男性四十二才(昭和五十三年生)、女性三十三才(昭和六十二年生)の本厄の方は、大きな厄年となります。厄除け祈祷はそういった年回りの平安を祈るものです。

当社での御祈祷はご予約制ですので、事前にお電話等でご予約下さい。(初穂料五千元)

- 御本社(神山町) 〇六 六三六一 二八八七
- 御旅社(茶屋町) 〇六 六三七二 一五八六

男 性		
前厄	本厄	後厄
平成 8年生(子) 2.4歳(小)	平成 7年生(寅) 2.5歳(中)	平成 6年生(卯) 2.6歳(小)
昭和 54年生(寅) 1.1歳(中)	昭和 53年生(卯) 1.2歳(中)	昭和 52年生(辰) 1.3歳(中)
昭和 35年生(子) 6.0歳(小)	昭和 34年生(寅) 6.1歳(中)	昭和 33年生(卯) 6.2歳(小)

青表が紫色は大厄、黄色は中厄、白色は小厄です。なお記載の年齢は数え年です。

女 性		
前厄	本厄	後厄
平成 14年生(午) 1.5歳(小)	平成 13年生(巳) 1.9歳(中)	平成 12年生(辰) 2.0歳(小)
昭和 63年生(辰) 3.2歳(中)	昭和 62年生(卯) 3.3歳(大)	昭和 61年生(寅) 3.4歳(中)
昭和 59年生(子) 3.6歳(小)	昭和 58年生(寅) 3.7歳(中)	昭和 57年生(卯) 3.8歳(小)
昭和 35年生(子) 6.0歳(小)	昭和 34年生(寅) 6.1歳(中)	昭和 33年生(卯) 6.2歳(小)

平成の御代から新しき御代への御代替わりを控え、四月まで、御即位に関するお話を掲載してまいります。
大饗(だいきょう)

大嘗祭を納められ、名実ともに新しい天皇陛下となられた事を祝い喜び、参列された関係者とともに開かれる祝宴。大嘗祭の翌日から二日間に亘って行われます。ここでは大嘗祭にお供えた白酒黒酒という日本古来の方法で醸された御神酒をはじめ神饌が下賜され、それを戴く事で、天皇陛下と国民との絆はより一層堅いものになるとされています。古来、こうした朝廷の饗宴を「節会(せちえ)」といい、大嘗祭に続いて「悠紀節会」「主基節会」「豊明節会」が催され、それに所以して大嘗祭も「大嘗会」とも呼ばれました。

この大饗の際には、国風歌舞(くにぶりのうたまい)として悠紀地方風俗歌舞(東日本)、主基地方風俗歌舞(西日本)として新作の舞と、神武天皇の故事に由来する「久米舞」、天武天皇の故事に由来するとされる「五節舞」が舞われ、新しき御代のはじまりをお祝い申し上げます。
神宮御親拝、山陵御親拝、賢所御神楽

大饗も納められて一段落の後、無事に即位の関連儀式が滞りなく行われた事を御奉告の為、天皇陛下御自ら伊勢の神宮を御親拝になられます。

その際には三種の神器のうち二つ、剣と璽が伴われ、また黄櫨染御袍という天皇陛下のみが着装できる御装束を御召しになられてお参りになられます。

この伊勢の神宮をお参りされる際は、まず豊受大神宮(外宮)をお参りされ、その後皇大神宮(内宮)をお参りになられます。これは外宮先祭と呼ばれる平安時代以前からの習わしです。

その後、神武天皇陵、また前四代天皇陵にも同様に御奉告になられ、最後に皇居の宮中三殿へもお参りの後、感謝の心を込めて賢所に御神楽が奏されます。

今月の暦

- 【祭礼】 節分祭(三日)：立春前日。旧暦のお正月頃。鬼やらい。祈年祭(十五日)：今年の豊作祈願。神宮では十七日。梅花祭(廿五日)：菅原道真公の御命日。

【節気】 立春(四日)：冬が極まり春の気配が立つ頃。極寒期。雨水(十九日)：雪が雨に変わる頃。実際は積雪真盛り。

【雑節】 初午(二日)：お稻荷さんの御縁日。商売繁盛の祈願日。

【大安】 二月四日、九日、十五日、廿一日、廿七日

【祝日】 建国記念の日(十一日)

網敷天神社 SNS、地図サイト



編著 網敷天神社 白江 秀知
補宜(御旅社 神主)

網敷天神社 SNS、地図サイト

